

全苗連だより

Vol. 67 (2月号)

令和2年2月28日

発行：全国山林種苗協同組合連合会

Tel.03-3262-3071 Fax.03-3262-3074

令和元年度林業用種苗需給連絡協議会の概要

- ・コンテナ苗需要は底を脱したものの6千1百万本と低位のまま推移
- ・苗木不足は関東、四国、九州地区で発生 ～「平成30年7月豪雨」による記録的な大雨発生による供給力減少の影響が残ったことと昨年度急増した需要量が低位ながらも維持されていることが要因～

令和元年度の地区別林業用種苗需給連絡協議会は、北から順に北海道・東北地区が11月6日秋田市、関東地区が1月17日静岡市、東海・北陸地区が12月12日長野市、近畿地区が11月21日京都市、中国地区が11月28日松江市、四国地区が12月19日高松市、九州地区が11月14日熊本市において、林野庁・森林管理局、都道府県、林木育種センター、森林整備センター、都道府県苗組、県森連等の関係者が多数出席して、種子・穂木や山行苗木の需給実績と需給計画、造林計画と山行苗木の需給見込量等について協議が行われました。

また、この協議会においては、種子・穂木や山行苗木の移出・移入の可否並びに広範囲な需給調整のあり方、コンテナ苗生産の取組み状況、特定母樹・花粉症対策品種の生産見込み、優良苗木の安定供給に向けた生産体制支援対策及び担い手対策等についての国・都道府県への要望事項等について熱心な話し合いが行われました。

需給の動向について、第1表に地区別の、第2表に樹種別の需給見通しを掲載しました。

第1表 地区別の山行苗木の需給見通し(令和2年2月15日現在)

(単位：千本)

地区	需給見通し (R1秋～R2春)			需給見通し (R2秋～R3春)		
	生産量	需要量	過不足	生産量	需要量	過不足
北海道	23,863	18,577	5,286	18,535	18,013	522
東北	10,524	9,533	991	10,117	8,743	1,374
関東	6,521	6,641	△120	6,531	6,014	517
中部	2,873	2,536	336	2,601	2,346	255
近畿中国	6,804	6,329	475	6,428	5,443	986
四国	1,916	2,057	△141	1,900	2,243	△343
九州	15,358	15,430	△72	15,808	15,287	521
計	67,859	61,104	6,755	61,920	58,088	3,832

第2表 樹種別の山行苗木の需給見通し(令和2年2月15日現在)

(単位:千本)

樹種	需給見通し(R1秋~R2春)			需給見通し(R2秋~R3春)			
	生産量	需要量	過不足	生産量	需要量	過不足	
スギ	総数	25,587	26,078	△ 491	26,226	25,373	854
	(うちコンテナ苗)	10,576	10,472	104	11,466	10,385	1081
	うち花粉対策	9,991	11,712	△ 1,722	11,165	11,952	△ 787
	(うちコンテナ苗)	3,929	4,629	△ 700	4,919	4,622	297
ヒノキ	総数	7,427	7,703	△ 276	7,337	6,883	453
	(うちコンテナ苗)	2,054	2,208	△ 154	2,183	2,017	165
カラマツ	総数	17,345	16,429	916	15,369	15,578	△ 210
	(うちコンテナ苗)	2,829	2,987	△ 158	2,843	3,243	△ 400
クロマツ	総数	2,594	1,690	904	1,934	1,184	751
	(うちコンテナ苗)	1,855	1,202	654	1,359	883	476
小計	総数	52,953	51,900	1,053	50,866	49,018	1,848
	(うちコンテナ苗)	17,314	16,868	446	17,850	16,528	1,322
その他	総数	14,906	9,204	5,702	11,054	9,070	1,984
	(うちコンテナ苗)	907	689	217	241	847	△ 607
計	総数	67,859	61,104	6,755	61,920	58,088	3,832
	(うちコンテナ苗)	18,221	17,558	663	18,091	17,375	715

なお、都道府県ごとの数値は、全苗連ホームページの会員向けページに掲載してありますのでそちらをご覧ください。

苗木不足が関東、四国、九州地区で発生しています。昨年の時点では、中部、近畿中国、四国、九州地区で発生していました。

令和元年度の苗木の生育については、全国的に概ね良好であったところです。この苗木不足の大きな原因は、一昨年の「平成30年7月豪雨」並びに同年の台風や前線などにより全国各地で発生した集中豪雨等により天候不順が続き、平成30年度の苗木の生育、得苗に大きな影響が出たところです。これは令和元年度出荷用苗木のみならず令和2年度及び3年度出荷用苗木にも悪影響を及ぼしました。また、需要の面からは令和元年度に当初予算及び平成30年度補正予算による造林用予算措置がしっかりとられたことから前年度までに想定していた苗木需要量が急に増えたことによります。

次に、樹種別の需給見通しをみます。

地域差はありますが、スギ、ヒノキ、クロマツ、カラマツの全般にわたり普通苗(裸苗)並びにコンテナ苗に不足が見られます。

各苗組におかれましては都道府県、森林管理局署、森林総合研究所森林整備センター、都道府県森連等との連携を密にして適切な対応をとるようお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症への対応について

新型コロナウイルス感染症対策本部等からの連絡事項につきましては、連絡があり次第速やかに全苗連HPのインフォメーションにUPしていますので、そちらをご確認願います。

全苗連・苗組の行事予定

～R2.3 ①コンテナ苗生産未経験者を対象とした研修会の実施 ②コンテナ苗生産に新規参入後、間もない事業者を対象とした研修会の実施 ③コンテナ苗生産経験者を対象とした巡回指導の実施 ④造林者等を対象としたコンテナ苗の植栽に関する研修会の実施 ⑤その他研修会の実施等 ⑥種苗の需給情報等を共有する取組 実施者;全苗連、都道府県苗組

3月18日 林業薬剤協会理事会(学会会館)

3月19日 全苗連会長・副会長会議(全苗連事務室)

3月19日 林退協運営委員会(コープビル)

4月中旬 全苗連生産者の集い実行委員会(福島市)

4月中下旬 全国山林苗畑品評会第3次審査(全苗連事務室)

4月下旬 全苗連監査(全苗連事務室)

5月12日 令和2年度全苗連理事会(ホテルメトロポリタン エドモント飯田橋)

5月22日 令和2年度全苗連通常総会(ホテルメトロポリタン エドモント飯田橋)

9月3日 第6回全苗連生産者の集い(福島県「とうほう・みんなの文化センター(福島県文化センター)」

～4日